

月北小だより

令和6年12月11日

No.16

みなかみ町立月夜野北小学校

文責：井熊

人権週間の取り組み

11月29日～12月6日が月北小の人権週間でした。(全国12月4日～10日 世界人権デー12月10日)

「人権」とは、「一人ひとりが幸せに生きる」権利のことです。この権利をお互いに守り大切にすることが人権の尊重です。

人権週間では、人権を尊重するために、どんなことに気を付ければいいのかを様々な活動を通して考えました。

～人権教室～

人権週間のスタートに人権擁護委員の方に人権教室を行っていただきました。人権の意味についてのお話をしていただいた後、低学年は「ええところ」の絵本の読み聞かせを聞き、高学年は「しらんぷり」というDVDを視聴しました。最後に「一人の手」を、手話を付けてみんなで歌いました。



～道徳の授業～

人権週間の期間中に道徳でも人権について学びました。

～人権講話～

朝礼で人権講話を行いました。人権教室と同じ「ええところ」の読み聞かせをして、よりよ友達との接し方について話をしました。

～人権標語～

人権講話の後、人権標語を考えました。人権についての自分の考えを標語にして表しました。いくつか紹介します。

- 友達とおにごっこすると 楽しいな (1年)
- 友達とみんなで遊ぶ 楽しいな (2年)
- ええところ ぼくもみんなのを見つけよう (3年)
- 友達とたくさん笑える よい世界 (4年)
- みんなのいいところを見つけよう そしたらみんなが幸せだ (5年)
- 笑い声 教室中に響かせる (6年)

～ハッピースマイル集会～

本部委員による「さっちゃんのまほうのて」の読み聞かせがありました。生まれつき右手の指が無いという女の子・さっちゃんが、ある日、幼稚園のままごと遊びでお母さんになりたいけれどなれなかったというきっかけから、自分について知り、周りの人に支えられ、それを受け入れていくというお話でした。

その後、お家の人からの「輝きの言葉」が渡され、その場で読みました。子どもたちにとって嬉しそうな笑顔がとても印象的でした。心のこもったメッセージ大変ありがとうございました。

～人権作文発表会～

人権作文は、人権教室で視聴したお話の感想を書きました。発表会では、友達のよいところを見つけるよさやいじめをしないことなどについて各学年の代表者が発表しました。

代表者は1年平井咲凧さん、2年平井詩乃さん、3年大木彩良さん、4年中村玲那さん、5年イングラムアルフレッドさん、6年藤井愛絆さんでした。

